

# 東京社保協ニュース

東京社会保険推進協議会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10  
東京労働会館6F

tel03-5395-3165 fax03-3946-6823

東京社保協

検索

## ストップ! 『子ども・子育て新システム』 子どもの笑顔と親の安心を守る東京集会



### 「保育の市場化許されぬ」 保育労働者、保護者など770人が参加

10月2日、日本教育会館大ホールで「ストップ! 『子ども・子育て新システム』子どもの笑顔と親の安心を守る東京集会」が開催され、会場を埋める770人が参加しました。

指定制度とは事業主が責任を持つ制度になる」と指摘。

安川さんは「収入の少ない人や手のかかる子は預けにくくし、経営的には事務作業が膨大になるうえ、安い保育士をいれることになる。処遇が

低い、職員集団としての保育が困難になる。生まれたときから格差が生まれる。小学校に待機児童はいない、国がやる気になれば待機児童解消は出来る」と指摘。

藤田さんは「『新システム』は、親が子育ての喜びをつかみ親同士が共有できる『手間をかける』ことが困難になる。

幼稚園がサービ産業になる。保育の質の低下、行事のイベントへの変質、労働条件の劣悪化を招く」と指摘。

特別報告では、「赤ちゃんの急死を考える会」の小山さん

が、自ら子どもを保育所でなくしたことに触れつつ、子どもを死なせることが1回にどまらない保育所、責任者がフィットネスクラブに行っていて子どもを死なせた例、泣きやまないとうつぶせにし

村山さんは「待機児童対策を口実に『新システム』を導入しようとしている。子ども手当の1割弱を回すだけで1年間10万人分の保育所整備費が出る。『新システム』の特徴は、市町村の保育実施責任が廃止され、

更に毛布を被せて死なせた例など紹介し、「新システム」導入の問題を指摘しました。最後に行動提起を含む集会アピールを確認して閉会しました。20代の保育士からは「色々な職業から見た内容を聞くことが出来て本当に良かった。ストップできるように活動に参加したい」、40代の保

護者からは「保育料など目先の問題だけでなく、死亡事故、障害児保育、企業の保育園などあまりに多くの問題をやらせて、正直ドキドキしてしまいました。どうしてもストップしたい。やれることから始める」など124通の感想が寄せられました。

## 安心して払える国保料(税)のために 市区町村へ東京都の財政支援を求める

### 全都で1万筆以上の署名を

「国保料が3倍になった」「支払いが心配で治療を手控えた」など社保協のアンケートでも7割の人が「国保料が高い」と回答しています。国保料(税)の負担は、限界を超えています。国保料(税)の負担を求めて、請願を提出します。そのため、1万筆以上の署名を全都で集め、地元選出都議会議員への要請を全地域で行います。みなさんのご協力をお願いします。

なぜ!? (脅かされる) いのち  
【国保料上げによる身のバイブル】  
1 国保料の増加  
2 国保料の負担  
3 国保料の削減  
4 国保料の削減  
5 国保料の削減  
6 国保料の削減  
7 国保料の削減  
8 国保料の削減  
9 国保料の削減  
10 国保料の削減  
11 国保料の削減  
12 国保料の削減  
13 国保料の削減  
14 国保料の削減  
15 国保料の削減  
16 国保料の削減  
17 国保料の削減  
18 国保料の削減  
19 国保料の削減  
20 国保料の削減  
21 国保料の削減  
22 国保料の削減  
23 国保料の削減  
24 国保料の削減  
25 国保料の削減  
26 国保料の削減  
27 国保料の削減  
28 国保料の削減  
29 国保料の削減  
30 国保料の削減  
31 国保料の削減  
32 国保料の削減  
33 国保料の削減  
34 国保料の削減  
35 国保料の削減  
36 国保料の削減  
37 国保料の削減  
38 国保料の削減  
39 国保料の削減  
40 国保料の削減  
41 国保料の削減  
42 国保料の削減  
43 国保料の削減  
44 国保料の削減  
45 国保料の削減  
46 国保料の削減  
47 国保料の削減  
48 国保料の削減  
49 国保料の削減  
50 国保料の削減  
51 国保料の削減  
52 国保料の削減  
53 国保料の削減  
54 国保料の削減  
55 国保料の削減  
56 国保料の削減  
57 国保料の削減  
58 国保料の削減  
59 国保料の削減  
60 国保料の削減  
61 国保料の削減  
62 国保料の削減  
63 国保料の削減  
64 国保料の削減  
65 国保料の削減  
66 国保料の削減  
67 国保料の削減  
68 国保料の削減  
69 国保料の削減  
70 国保料の削減  
71 国保料の削減  
72 国保料の削減  
73 国保料の削減  
74 国保料の削減  
75 国保料の削減  
76 国保料の削減  
77 国保料の削減  
78 国保料の削減  
79 国保料の削減  
80 国保料の削減  
81 国保料の削減  
82 国保料の削減  
83 国保料の削減  
84 国保料の削減  
85 国保料の削減  
86 国保料の削減  
87 国保料の削減  
88 国保料の削減  
89 国保料の削減  
90 国保料の削減  
91 国保料の削減  
92 国保料の削減  
93 国保料の削減  
94 国保料の削減  
95 国保料の削減  
96 国保料の削減  
97 国保料の削減  
98 国保料の削減  
99 国保料の削減  
100 国保料の削減

# 地域社保協が各地で奮闘



**渋谷駅前での相談会に15人  
定例化をめざす**  
渋谷

10月26日、午後2時から4時まで、渋谷駅南口モヤイ像前で、

渋谷社保協が2011年度2回目の街頭無料相談会を開催しました。冷たい風の吹く中ではありましたが、とりわけ人通りの多いこの場所での呼びかけには、大勢の人が関心を示し、ひと

費用に窮しているなどという切実な実態も明らかにされ、解決の方向を示すことで感謝されたり、「こうした活動は本当にありがたい。今後がんばって下さい」と温かい励ましを受けたりもしま

## 窓口負担軽減など自治体と交渉

西多摩では今年も8月下旬に8自治体全市町村で自治体要請行動を行いました。この間の働きかけも反映して日の出町の75歳以上の医療費、がん治療費（全年齢）窓口負担の無料化、桧原村でも75歳以上の医療費の窓口負担の半額村負担など大きな成果を実現しています。

した。渋谷社保協では、この成果を受けて、今後もうこうした活動を続けていこうと意思統一しました。（渋谷社保協会長・福井典子）

## 事前学習強め 区と交渉

新宿社保協は、10月17日に新宿区と交渉しまし

た。

また東京都に働きかけて医師派遣制度を活用して公立福生病院に医師を派遣させました。あきる野医療センター、奥多摩町立病院への働きかけも強化させています。

第3分科会では、後期高齢者医療について「日の出町では医療費無料化しているのに、この新宿区ではなぜできないのか？」との質問に、担当課長は「町と区の人口規模が違う」云々と言ったことで問題を回避しています。

今年には社保協事務局からの働きかけを強め、自治体ごとに関係団体が要

求を持ち寄り自治体独自の要求書作りと交渉の進め方について事前に話し合いがなされ準備されました。

ないという失業中の障害のある青年もいて、福祉事務所生活保護の申請にいく事にしました。

「実は困っていることがあるのです」ということで、サラ金の返済や介護

今年には社保協事務局からの働きかけを強め、自治体ごとに関係団体が要

求を持ち寄り自治体独自の要求書作りと交渉の進め方について事前に話し合いがなされ準備されました。



# 相談会、対区交渉、議会請願など

を見て値上がりを知って驚いた」との声や、東京社保協「23区国

保実態アンケート」の区民の声などを引用しながら国保値上げについて質問をしました。



区では納付書が届いてから区民からの苦情や意見などの報告は受けていないと担当課長は言い、区民の声を真つ向から封じ込めるような対応をしていることに憤りを感じました。

第1分科会では、保育園待機児童問題で、お母さんも参加して交渉をおこないました。保育園が足りてなく、2015年までに100人の待機児を解消すると区は言っていますが、切実に早急に保育園増設と認証保育園ではなく認可保育園を要望しました。

## 板橋 介護労働者の処遇改善交付金 継続への意見書を採択

宿社保協事務局長・秋山清

9月議会へ向けて各地域で「介護職員処遇改善交付金の継続を求める陳情」が議会に提出されました。大田区では不採択、目黒区で継続審議でしたが、23区では唯一板橋区で陳情が採択されました。

この陳情は、板橋

社保協と東京北部地域ケアユニオンが提出したものです。陳情書は、「介護職員処遇改善交付金の実施期間は、2012年3月31日までの限定されたものであり、4月以降は、継続するのか、介護報酬に含むのか国の対応が

明確ではありません。今後とも介護サービスが必要とする方が増加する中で、利用者が安心して良い介護サービスが受けられるために、介護職員処遇改善交付金を介護報酬に盛り込まず、2012年4月以降も引き続き継続していただきたい」と述べています。

## 西東京 医師会会長と懇談

西東京社保協は、10月19日、石田秀世西東京医師会会長懇談しました。懇談では「市内の開業医は後継者が少なく毎年1〜2件廃業している。一方で、小児科・婦人科を中心に病院の医師不足が深刻」「短期保険証での受診は、若い人やアルバイトの人が多いようだ。治療中断もある」「医師会は国民皆保険制度を維持したい。外来受診料に定額上乗せは反対。医療を受けられる人と受けられない人の開きが大きくなる」などと話されました。私たちの要求と一致点も多くあり共同の運動をめざします。(西東京社保協 ニュースより)

健康福祉委員会での審議では、介護保険課長はヘルパーの給与が1カ月10万円以下が多いということを認識していませんでしたが、定着率が悪いことが論議になりました。「継続審議」の主張もありましたが、論議を経て9人の議員が全員一致で採択となり、板橋区議会議長名で衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・厚生労働大臣宛てへの意見書が採択されました。意見書は、陳情の内容を反映し「(前略)介護職員処遇改善交付金廃止に伴い、介護報酬が上がった場合、介護保険料が増額となるなど、多くの高齢者への負担増が懸念される。そのため、今後とも介護サービスを必要とする方が増加する中で、利用者が安心して良いサービスを受けられるように介護職員処遇改善交付金を廃止せず、平成24年4月以降も引き続き継続する必要がある。(後略)」と述べています。



# なくせ！原発 10.30大集会 in 福島

## 全国から1万人

10月30日、福島市・四季の里で開催された集会は、全国47都道府県から1万人を超す人たちが集まって「なくせ！原発」の声を上げました。

呼びかけ人のあいさつに続いて、JAF福島中央会長、浪江町長、飯館村長、前福島県知事が発言しました。地元からの訴えは、改めて

原発事故の深刻さ、原発なくせの決意を新たにさせられる内容でした。呼びかけ人の片岡輝美さんは「3歳の子どもにがん保険をかけたお母さんは『どんなことがあってもこの子の命は私が守る』と決意している」と、現地の母親たちがどんな思いでいるかを紹介し、原発をなくすために運動を広げる決意を語りました。浪江町長・飯館村長は、ふるさとを奪われた住民の思いを訴えました。子どもたちも自分の思いを参加者に訴えました。「幼稚園の外の遊具で遊びたい！（5歳）」「お外でかくれんぼしたい！（4歳）」などの訴えに共感の大きな拍手が寄せられました。最後に子どもたちが集会アピール「ふくしまに生き、明日につなぐーふくしまからのよびかけー」を読み上げ、参加者で確認し、パレードに移りました。パレードを歩く高齢の女性、実行委員会のテン

トに駆け寄り「集会をやってくれてありがとう！家に帰れず、7カ月避難所で3食弁当の生活。今日は12人がバスで来た。一時帰 秋晴

れに恵まれた10月28日、日比谷野外音楽堂で開かれた「10・28 JDF大フォーラム」に全国から1万人が集まりました。集会は、日本障害フォーラム（JDF）が初めて主催、13の障害者団体が参加。障害者団体の連帯と共同の力が発揮された集会となりました。

小川JDF代表は「総合福祉法の『骨格提言』は55人の委員の合意によるもの。新法実現のため全国の仲間が手をつなぐことが大切」と主催あいさつしました。来賓として各政党と日本弁護士連合会と湯浅反貧困ネットワーク代表からの連帯あいさつをうけました。

期待トーク「創ろう、みんなの障害者総合福祉

**私たちの声を生かした「新法」を！**  
**大フォーラムに1万人**

宅で家は草は伸び放題、犬や猫のふんだらけの大変な状況よ。でも頑張るからね！」と握手をしてパレードの中に入っていました。

法！」では、13の障害者団体の代表から、新法に向けた期待や願いが述べられました。そして、「法案化とその制定に際して、骨格提言を尊重し反映させること。障害者総合福祉法を立法化するため十分な予算を確保すること」を盛り込んだアピールを確認し、銀座方面へパレードしました。



### 【11月の日程】

- 4日（金）11:00～東京生存権裁判 最高裁要請行動
- 10日（木）13:30～地域社保協事務局長会議
- 12（土）～13日（日）10:00～19:00 介護110番
- 13日（日）第17回在宅ケア研究交流集会  
於：東洋大白山キャンパス1号館
- 16日（水）12:15～国会昼休み集会 於：衆議院第2会館前
- 20日（日）13:30～ドクターズ・デモンストレーション2011  
於：日比谷野外音楽堂
- 21日（月）13:30～後期高齢者医療広域連合議会
- 22日（火）18:00～昭島社保協結成集会
- 第12回常任幹事会 日時 11月24日（木）13:30～16:00  
場所 東京労働会館5階会議室

### 第42回東京社保協総会の案内

日時 2011年12月12日（月）  
10:00～16:30（予定）

会場 けんせつプラザ東京  
（東京土建本部会館）

参加 地域社保協、都団体とも  
各2人の参加

内容 2011年度活動の総括、  
決算、2012年度方針・